



村内で20年ぶりに観測されたハクチョウ。氷が張ったため池で羽を休めていました（撮影は2月1日）

20年ぶりに村内で観測 ハクチョウが飛来しています

大久保・外内行政区内にあるため池に、ハクチョウが飛来しました。ハクチョウの飛来が村内で確認されたのは、約20年ぶりということです。

このハクチョウは、群れではなく、1羽で飛来しています。近隣の方がその姿を発見し、村役場へも一報をいただきました。ハクチョウが村内で見られることは珍しく、近隣の皆さんは、様子を気かけながら、このハクチョウを大切に见守っているということです。やがて北に向かって飛び立つまでの期間、地域のアイドルとなっています。



役場庁舎玄関ホール横の「ほっとコーナー」前に展示しています。どうぞ手にとってご覧ください

自分史集「飯舘村に生きて」 庁舎玄関ホールに展示中

3巻目となる村発行の自分史集「飯舘村に生きて」の展示を、役場庁舎の玄関ホールで行っています。1巻・2巻は、発行時にお披露目のセレモニーを開催しましたが、3巻については、新型コロナウイルス感染症の影響で開催することができません。多くの方に、この本を知っていただくために、庁舎での展示を行うことになりました。

なお、交流センター「ふれ愛館」では、全巻の貸し出しを行っています。村を形作ってきた方々の自分史は、村の歴史を知る上でも貴重な記録です。

村内産のエゴマが宇宙旅行へ 《東北復興宇宙ミッション2021》

一般社団法人ワンアースによる「東北復興宇宙ミッション2021」で、飯舘産エゴマが宇宙旅行に飛び立ちます。このプロジェクトは、復興する東北の姿と支援への感謝を世界に発信するもの。各参加自治体を選んだ品とメッセージの横断幕を国際宇宙ステーションへ打ち上げ、また、一連の映像を、3月11日に、JAXA野口聡一宇宙飛行士のナビゲーションで公開します。1月28日、ワンアースの長谷川洋一代表理事（写真右から3人目）らが来庁し、杉岡村長からエゴマを受け取りました。



エゴマの生産者も出席し団体代表らにエゴマの魅力を伝えました

いいたてプレミアム付商品券 約1万3,700冊を販売し終了

昨年6月1日から、今年1月29日まで、飯舘村商工会で販売した「いいたてプレミアム付商品券」。1冊1万円で、1万5,000円分の買い物ができる商品券で、村民はもちろん、村内に通勤する人にも購入をいただき、1万3,697冊を販売しました。

購入した皆さんは、「家族分（1人6冊まで）を購入して活用しました」「ガソリンスタンドで使えるのがうれしかった」と、それぞれ有効に活用されたようです。1月末日をもって、利用期間が終了となりました。



商品券の活用は村内事業所の活性化にも役立ちます。たくさんのご利用を、ありがとうございました

福島大学の学生たちが 村での活動を報告しました

2月16日、福島大学行政政策学類の大黒太郎准教授と大黒ゼミに所属する学生の皆さんが、村内で行ってきたさまざまな活動を、杉岡村長らに報告。活動の充実に向けて、意見を交わしました。報告では、多くの学生が村民と交流しながら進めてきた幅広い活動が紹介されました。報告を受けた杉岡村長は、今後に向けたアイデアが、より多くの人が関わりやすい実益のある事業となるよう、連携の重要性などをアドバイス。情報の共有を進め村の関係部署とも相談するよう伝えました。



報告の1つ「大久保外内えごまプロジェクト」のひとこま→
新型コロナウイルス感染防止のため、報告会はオンラインで、大学、学生、役場をつないで行われました

皆さんの声をお聞かせください

「広報いいたて」あてに声をお寄せください。右の専用ハガキに、感想、ご意見、耳寄り情報、近況報告、イラストなど、自由に書いて送ってください。ハガキは線に沿って切り取り、63円切手を貼ってご利用ください。※普通ハガキでも受け付けます。

郵便番号 960-1892

恐れ入りますが
63円切手を貼って
投函してください

〒960-1892 福島県飯舘村大字大久保外内1-1-1

飯舘村役場 広報いいたて係

〒960-1892 福島県飯舘村大字大久保外内1-1-1



村は、村主催のイベントや村民の皆さんの取り組みを取材し、広報紙・ホームページ等に掲載しています。写真掲載に不都合がある方は、村づくり推進課企画係までご連絡ください。